

【第4章】

9. 医薬品の制度とその活用

目標：医薬品の正しい使用方法について説明できる。
医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。

1 医薬品の種類と使用法

●医薬品の種類

«目的別»

『原因療法薬』
例えば、.. ・インフルエンザウイルスが増えるのを邪魔 ・胃の粘膜を傷つける胃酸の分泌をおさえる 病気の原因を取り除くもの

『対症療法薬』
例えば、.. ・インフルエンザの時に発熱をあさえる ・胃痛のときに痛みをおさえる 病気の症状をおさえるもの

«入手経路別»

『医療用』医薬品
医師・歯科医師が患者の病気、 症状、体質などにあわせて <u>処方箋</u> を出し、それ にもとづいて薬剤師が調剤す るもの。

『要指導』医薬品
処方箋はいらず、薬剤師が対 面で情報を提供したり説明し たりすることが定められている もの。

『一般用』医薬品
症状などを自分で判断して薬 局などで購入して使用するも ので、その成分によって販売 のしかたなどが分かれる。

●医薬品の使用法

- ① 前もって 説明書 (添付文書) を読む
- ② 決められた 用法・用量 を守る
- ③ 決められた 服用時間 を守る
- ④ 形状 を変えずに服用する
- ⑤ 併用 を避ける

薬はあくまで、人間の体に備わっている病気やけがを治そうとする力（自然治癒力）を助けるもので
す。 自然治癒力 が働きやすいようにする。

② 医薬品の副作用と安全性を守る取り組み

●医薬品の副作用と薬害

「くすりはリスク」

→本来期待された 主作用 ではない 副作用 が生じるリスクがある



主作用 … 治療の目的に利用される作用

副作用 … 適正に使用した場合でも、その医薬品であらわれる有害反応

医師や薬剤師の説明に従って医薬品を使用することが重要

○薬害

医薬品の使用により生じた有害な事象のうち社会問題になったもの

【薬害の事例】

名称	薬の概要	健康被害（副作用）
サリドマイド	妊娠の睡眠薬	胎児の奇形
薬害エイズ	血友病患者への血液製剤	HIV 感染
フィブリノゲン製剤	出産・手術時の止血剤	C型肝炎

●安全性の確保をめざしたさまざまな対策

・医薬品には 承認制度 がある

販売前に 有効性 と 安全性 の確認

→国による審査を通らないと販売できない

副作用が判明したら・・・??

『 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度 』

- ・私たち → 医師や薬剤師に相談
- ・医療関係者 → 国に報告（義務）

*患者または家族から国に直接報告できる仕組みもある

→ 患者副作用報告

『 医薬品副作用被害救済制度 』

- ・国 → 副作用被害者への補償を行う 医療費や障害年金などの給付を受ける

○『 医薬分業 』

医師から処方箋をもらい、薬局で医薬品を調剤してもらうこと。

医師と薬剤師により、安全性を二段階でチェックすることを推進する。

○ お薬手帳 の活用

→投薬の参考になる事柄の記録を参考にできる（副作用、体質など）

→飲み合わせのチェック、相談が出来る



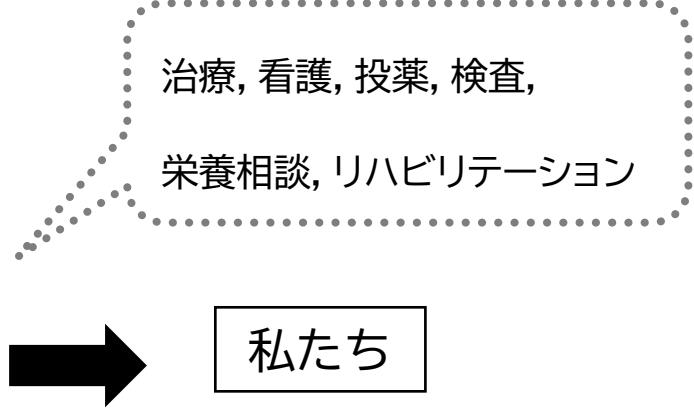
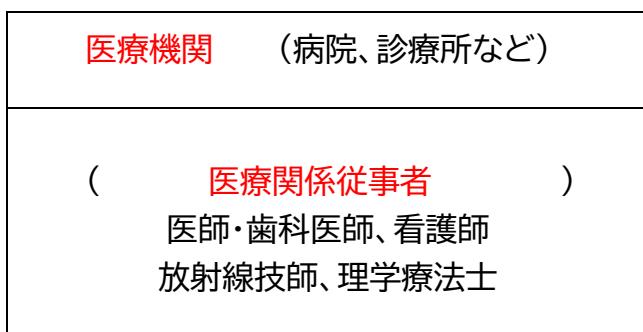
【第4章】

8. 医療サービスとその活用

目標：わが国における医療保険のしくみについて説明できる。
さまざまな医療機関の役割について説明できる。

1 医療の供給と医療保険

●医療の供給



最近では、医療技術などの進歩によって、臓器移植にみられるような高度な医療もおこなわれるようになった。

●医療保険のしくみ

『 国民皆保険制度 』

わが国では、私たちが経済的な理由で必要な医療が受けられないことがないように、医療費の一部を、あらかじめ一定割合のお金（保険料）を出し合って積み立てた財源のなかから支払う医療保険のしくみがある。

- ・ 医療費 …診察・検査・治療などの医療に対して支払われる費用
- ・ 医療保険 …あらかじめ保険料を皆が出し合って蓄えておいた財源から医療費の一部を医療機関に支払う
 - ① 被用者保険 …勤め人とその家族が対象
 - ② 国民健康保険 …自営業者とその家族が対象

負担割合(基本)
本人 = 3割

- ・ 1961年に国民皆保険が実現

目的：すべての国民が医療保険に加入し、国民に医療を受ける機会を平等に保障する
→ 保険証 を提示することで、誰もが少ない自己負担で必要な医療を受けられる

- ・ 民間の医療保険…医療費の自己負担分、入院や通院などによる出費への備え

- ・ 高額療養費制度 … 大きな怪我や病気により長期にわたる治療や入院で医療費が高額になる場合、自己負担が過大にならないようにする
- ・ 介護保険制度 … 40歳 以上が加入義務となり、高齢者が社会全体を支えていくことが目的

2 医療機関と医療サービスの活用

● さまざまな医療機関

- ・ 医療機関には、病院 と 診療所 がある
 - 病院…病床が 20床 以上
 - 診療所…病床が 19床 以下
- ・ 内科、外科、歯科など診療可能な科目を示し、それぞれの専門分野に応じて医療を供給

●かかりつけ医

- ・ かかりつけ医（家庭医） … 自分の家族の健康状態などを把握している頼りになる医師
体に不調を感じたら医師のところで受診
- ↓
- より詳しい検査、専門的な治療が必要な場合には、それが可能な医療機関を紹介

役割：地域における個人や家族の健康相談、健康管理の役割を担う

- ・ 医療関係者側からの取り組み（義務）
→ インフォームド・コンセント

患者に対して積極的に必要な情報を伝え、同意を得た上で治療にあたること

- ・ 患者側の取り組み（権利）
→ セカンド・オピニオン
- 医師の診断に納得ができない場合などに、別の専門家の意見を聞くこと
- *私たち（患者）が主体的に医療サービスを活用する

【第4章】

7. 保健サービスとその活用

目標：保健行政の役割について例をあげて説明できる。

保健サービスの活用の例をあげることができる。

1 保健行政の役割

●保健行政とは

保健行政とは…健康の保持増進と回復のための、国および地方自治体の活動

これらの活動により、

生涯を通じたさまざまな保健サービスが提供されている

★保健行政の組織

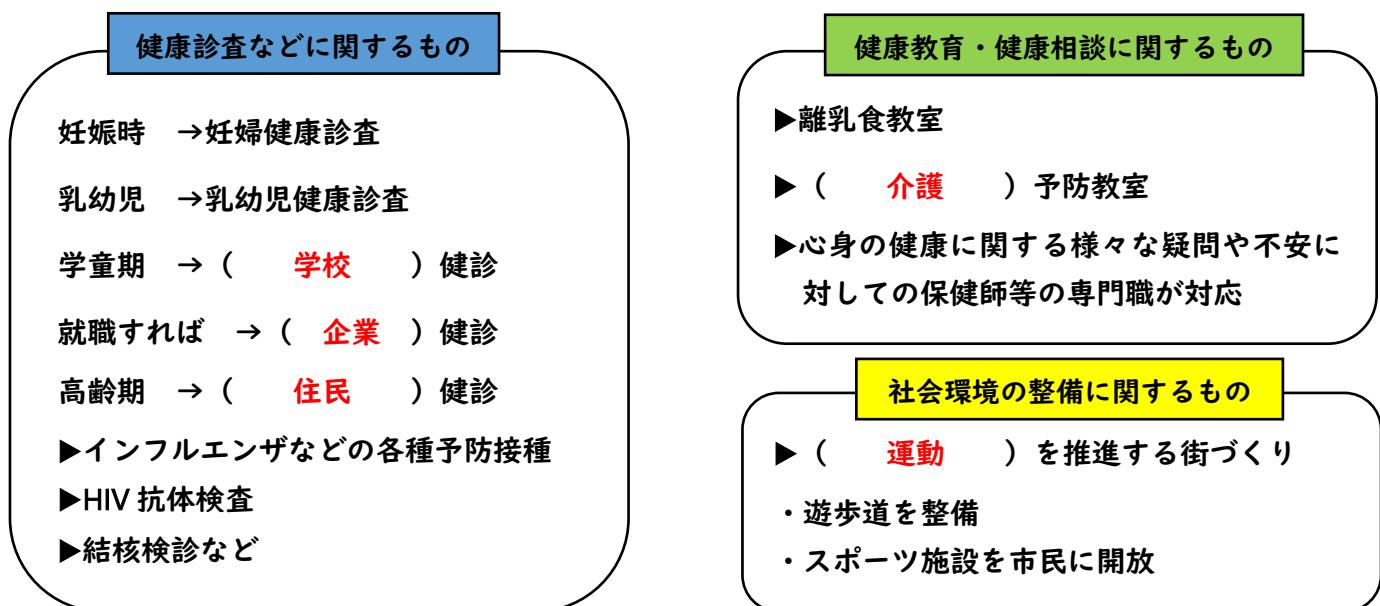
	対象と主な対象者	担当する公的機関
『 学校保健行政 』	児童、生徒、学生、教職員など 学校生活を対象とする。	文部科学省 教育委員会
『 産業保健行政 』	職場の生活を対象とする。	厚生労働省 労働基準監督署
『 地域保健行政 』	上記以外を対象とする。	厚生労働省、保健所 保健センター
『 環境保健行政 』	公害対策や環境保全対策等の 環境問題を対象とする。	環境省、公害・環境保全 主管部局

●保健行政の活動

	設置	役割
保健所	(都道府県) や 一部の市・区などに設置	地域保健と環境保健を大きな柱として、地域 の健康水準向上のために、包括的・総合的な 役割を果たしている。
保健センター	(市町村) に設置	保健師、看護師などの専門職が、健康診査、健 康相談、保健指導といった住民に身近なサー ビスを行っている。

② 保健サービスの活用

●保健サービスの内容



●健康情報の活用

★行政機関からの情報

- ・自治体の (広報誌)
- ・(ポスター)、(リーフレット)
- ・自治体のホームページを通じた (健康情報) の提供

→ 事前によく精査されているため信頼性が高い

信頼できる情報をもとに、保健サービスを知り、適切に活用していくことが必要

【第4章】

6. 食品衛生にかかる活動

目標：食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。
食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。

1 食品の安全性の確保

●法律にもとづく行政の役割

- ・『**食品安全基本法**』

食品の安全性の確保に関する施策を総合的に進める目的とした法律

- ・『**食品衛生法**』

飲食によっておこる衛生上の危害発生を防止するために制定された法律

たとえば・・・

- 『**食品安全委員会**』

食品による健康への影響を公平な立場で科学的・客観的に評価し、るべき施策を勧告するなどの役割を担っている。

私たちの身近なところでは・・・

- ・保健所の**食品衛生監視員**

→食品の取り扱いや施設・設備の衛生管理について監視、指導

→食品衛生法で定められた基準が守れているかどうか確認、検査

- ・**検疫所**の食品衛生監視員

→輸入食品の審査・検査

●製造者による衛生管理

これまで

抜き取り調査や施設の立ち入り検査に頼ってきた → 調査しなかった製品の安全性を保障できない

- 『**HACCP = 危害要因分析重要管理点**』

→食品の製造・加工の工程で特に重点的に管理するポイントを定め、対策がきちんと行われているか常時監視する方法



どんなすぐれた方法でも、管理側が食品の安全を確保するという意識がなければ効果は期待できない

② 食品の安全と私たちの役割

●食品情報の活用

_____に基づき、原産地、原材料、_____ 消費期限 _____ または _____ 賞味期限 _____ などを含む _____ 食品表示 _____ が義務づけられている

- ・ 原産地・・・最初に産出した土地
- ・ 原材料・・・物（製品など）を構造するための元になるもの
→加工食品の原材料は、重量的に基本的にすべて記載することになっている
- ・ _____ 消費期限 _____ ・・・定められた方法により保存した場合に、安全性を欠くおそれがないと認められる期限を示す年月日のこと
→品質が _____ 急速に劣化しやすい _____ 食品が対象
- ・ _____ 賞味期限 _____ ・・・定められた方法により保存した場合に期待される全品質の保持が十分可能であると認められる期限を示す年月日のこと。
→品質の劣化が _____ 比較的穏やかな _____ 食品が対象

また・・・

- ・ _____ 遺伝子組み換え食品 _____ の使用の表示
- ・ アレルギー物質の表示が 義務づけられている

●消費者の役割

消費者である私たちが健康で安全な食品への意識を高め、食品を選択するようになれば、生産者、製造者も消費者のニーズに応じた食品を開発・販売できるようになる

たとえば・・・

- ・ 生産者が農薬や化学肥料などを使わず有機栽培（有機農業）で野菜を生産したり
- ・ 製造者がそれを活用したジュースをつくったり
- ・ 顔の見える広告やパッケージを作成したりする

消費者、製造者、行政担当者などの関係者の間で情報や意見を互いに交換する _____ リスク _____ コミュニケーション _____ も食品の安全を高める1つの方法

食品をより安全にするための5つの鍵

- ① _____ 清潔 _____ に保つ
- ② 生の食品と加熱済み食品とを分ける
- ③ よく _____ 加熱 _____ する
- ④ 安全な _____ 温度 _____ に保つ
- ⑤ 安全な水と原材料を使う

【第4章】

5. 食品の安全性

目標：食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。
食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。

1 食品の安全性と課題

●食品の安全性

ふだん口にする食品が安全かどうかは、直接的に私たちの健康を左右します！

食品のほとんどは、

- ① 生産 や 製造 ・ 加工 (農地・漁業・工場など)
- ② 保存 ・ 流通
- ③ 販売 (商店)

その過程で

病原体 や 有害物質 が混入したり、食品の原材料やその包装容器などに有害物質が含まれている



それらを直接体内に取り組むことによって深刻な健康被害を受ける！

過去には食品を原因とするさまざまな問題が起きている。

したがって、あらゆる段階での食品の衛生管理が非常に大切！

2 食品の安全性に関する今日的課題

●『 食中毒 』

飲食物を通して体内に入った細菌、ウイルス、自然毒、化学物質、寄生虫などによって起こり、毎年多くの被害が出ている

→症状としては腹痛、下痢、嘔吐 などがある

有害物質は、「農場から食卓まで」のあらゆる段階で混入する可能性あり

近年、魚介類の生食により寄生虫の一種である アニサキス を原因とする食中毒が急増

●『 食品添加物 』

- ・品質の向上や保存性の確保などの役割があるが、摂取する量によっては健康に影響を及ぼす
→使用目的や使用量が厳しく制限されている

●『 輸入食品 』

- ・わが国と異なる規制のもとで生産、製造されているため、日本で禁じられている食品添加物などの物質が含まれていたり、農薬が日本の基準以上に残っていたりする場合がある

●『 食物アレルギー 』

食物に含まれるアレルギーの原因となる物質（アレルゲン）に免疫が過剰に反応してしまい体に悪い影響を与えてしまう現象
→じんましんや息苦しさ、目や唇の腫れ、腹痛、吐き気、咳、
→症状が激しい場合は血圧低下、呼吸困難、意識障害などの全身性の症状（アナフィラキシー）を引き起こすこともある。



*特定原材料8品目

卵 · 乳 · 小麦 · そば · 落花生（ピーナッツ） · えび · かに · くるみ

『 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 』

特定の食物を食べただけでは症状が起きず、食後、数時間以内に運動した時にだけ、症状が起こることがある。原因食物は、小麦と甲殻類が多い。

『 エピペン （アドレナリン自己注射器）』

アナフィラキシーがあらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を緩和するアドレナリンの自己注射器

